

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌菊水校		
○保護者評価実施期間	2024年11月21日		2024年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年11月21日		2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援及び移行支援の視点を持ち、支援にあたっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子について、利用時にご家族が来所される場合には個別でフィードバックを行い、家族支援面談の形でも利用日以外にも話してきける機会の提案・対応を行っている。 ・ご家族からの聞き取りや関係機関との情報共有の機会を設ける事で、事業所外での児童の様子の把握に努め、支援や相談援助に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の意向を踏まえた上で、事業所内での取り組みだけではなく、ご家庭で行える取り組みの工夫を伝える場面として支援時の観察や参加を推進したり、保護者様同士が交流できる機会を設けたりすることで、ペアレント・トレーニングの充実を図っていく。
2	職員間の情報共有や連携に気を付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務が日曜日以外はシフト制である為、職員同士が情報共有を行いやすいよう、共有フォルダやスプレッドシートの中でリアルタイムで得た情報を共有できるようにしている。 ・毎日朝礼を行う中で、事業所運営に関する事やその日の職員の動き、前日や前回利用時の児童の様子やご家族から聞き取ったことなどを共有している。 ・行った支援について職員同士引継ぎを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の長さにより、職員間で行える支援やその他業務の深さや幅が違う為、すべての職員が段階を踏みながら色々な経験することで、どの職員でも対応できる事業所運営を引き続き推進していく。
3	研修や相談の機会が設けられている。	<ul style="list-style-type: none"> ・義務化に関する研修や、職員の階層に合わせた研修を受ける機会が確保されており、日頃の業務や支援の中での困りごとを共有できる、研修や座談会なども行っている。 ・面談の機会が確保されており、入職後すぐのタイミングにおいてはこまめに面談を実施、困り感の聞き取りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けに行われている研修や訓練など、ご家族や児童に共有できる機会を設けていく。(通信やブログでの発信、LINEなどでの共有、事業所内での掲示など)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレント・トレーニングの機会が限定されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援時の見学や観察についてご家族へお声掛けし、お時間が折り合うご家族については児童への声掛けや関わりの工夫をお伝えできているが、お時間の都合が難しいご家族へご提案できているものが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早い段階で事前にご案内する事で、ご家族が予定を立てやすいようにしていく。 ・どうしても来所が難しいご家族へ向けて、情報が得やすい形での発信を行っていく。(通信やブログでの発信、LINEなどでの共有、事業所内での掲示など)
2	研修や訓練などが行われている事がご家族に認識されていない部分がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練については参加児童のご家族へはお伝えし、実施後ブログで発信をしているが、該当日ではない方に対して周知が不十分である。 ・職員向けに行われた研修は、職員内での共有に留まっている事が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けに行われている研修や訓練など、ご家族や児童に共有できる機会を設けていく。(通信やブログでの発信、LINEなどでの共有、事業所内での掲示など)
3	ご家族にとってわかりやすい説明や書類内容の改善の余地がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域を意識したアセスメントシートや計画書について、ご家族の理解や職員の認識・説明の仕方に差異が出ないよう、わかりやすくする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目の意味について補足できる文書を用意し、ご家族が読んだ際にイメージしやすいよう具体例なども添えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室『クラ・ゼミ』札幌菊水校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

10

回収数

8

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0		今回のアンケートでは項目ごとのご意見は記載がありませんでした。今年度は従来の連絡帳・電話・対面でのやり取りに加え、LINEを導入して連絡が取りやすくなるよう改善させていただきました。保護者様にはいつもご理解とご協力を頂き感謝しております。 また、放課後等デイサービスの集計結果ではたくさんのご意見を頂戴しておりますのでそちらもご覧ください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	0	6		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	0	0	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	0	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	1	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	4	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	1	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	0	0	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌菊水校	公表日	2025年 2月 15日
------	-----------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・法令を遵守し、スペース確保を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・法令を遵守し、配置数を確保している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・療育室に関してはバリアフリーになっている。 ・待機できる空間に椅子を設置している。 ・個別の支援室と小集団で遊べる空間を作っている。 	・事業所が2階にあり、ビル入り口が階段となっている為、テナント外についてはバリアフリー化はなされていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・清掃、消毒、整理整頓に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・療育室は全て個室になっている。 ・その時間使用していない個室をカムダウンエリアとして使用することがある。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・定期的にミーティングを行い、目標設定や振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者様の意見を踏まえ改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・個人面談や交流会などが定期的の実施されている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様及び事業所内評価は行っているが、第三者による外部評価は行っていない。 ・社内の内部監査の評価を元に業務改善に繋げている。 	・社内の定期的な内部監査により引き続き法令遵守を徹底する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修が定期的に行われている。 ・月に1度の研修に参加し、資質向上を図っている。 	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・作成中。	・本年度中に公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに合わせて作成されている。 ・年度初めにアセスメントシートを元にニーズや課題の聞き取りを行っている。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・既存のアセスメントシートで項目の解釈がわかりづらい点について、聞き取る際にばらつきがでる可能性がある為、聞き取りや記載の際に工夫が必要である。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合いを行っている。 ・担当時は個人で立案しているが、困ったときに相談できる環境はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援を基本としている為、支援プログラムの準備自体は担当指導員が独自に用意している。 ・イベントなど集団で行う活動はイベント担当が計画し、職員全員で準備、実行している。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・発達段階や課題の達成状況に応じて、多様なプログラムになるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・個別支援がメインとなっているが、製作や運動などで集団で活動する時間も適宜確保している。	・今後も児童の課題に合わせた計画作成と、それに基づいた支援を継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・朝礼時に支援ミーティングを行い、前回の支援の内容・利用者の様子について共有し、共通理解を持つようになっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・退勤時間を考慮し、翌日の朝礼で行っている。 ・特記事項については、スプレッドシートで共有している。	・急ぎの特記事項はできるだけリアルタイムでスプレッドシートにて共有し、当日や翌日が休みの職員にも伝わるよう、対応を継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・特記事項については、スプレッドシートで共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・6か月毎に計画書の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	3	・児発管や担当指導員を中心に参加、全職員に内容を共有している。 ・相談支援事業所がっている児童自体が少ない。	・経験を積み重ねていく中でできるだけ色々な職員が参画していけるよう、対応を継続する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			・訪問や電話での共有など継続していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・保護者様から依頼があった場合に、保育園や幼稚園、認定こども園と連携し情報を共有している。	・保護者様からの意向を確認しながら引き続き対応していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・保護者様から依頼があった場合など、必要に応じて移行支援を行う体制は整えている。	・進学・進級などの際には、保護者様より意向を聞き取り、関係機関との連携を提案していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6		・定期的に連携を図り、助言等を得る機会を作っていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	・地域との交流機会を設定できていないが、ニーズに合わせて必要であれば機会を設定する。 ・周知活動の際に聞き取りを進めている。	・引き続き周知活動を行う中で地域のニーズを聞き取り、必要に応じて対応していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・フィードバックだけではなく、保護者様にお声掛けし家族支援の時間も設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	・個人に対する家族支援を行っている。 ・フィードバックの時や個別支援計画更新の時期に個別にお伝えしている。	・ご家族等の参加できる研修の機会は設定できていないため、ニーズに合わせて適宜機会を設定する。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			・フィードバックや家族支援の場で対応を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		・兄弟でイベント参加できる機会がある。	・父母の会等の保護者様の交流機会が設定できていないので、必要に応じて企画していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			・月に2回程度はブログにて発信している。 ・ブログや事業所前掲示をすることで行事の周知を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			・個人情報の入った書類を破棄する場合はシュレッダーを使用している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7			・イベント時に利用している児童以外に、体験という形で参加が可能となっている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・定期的に避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		・年度初めにアセスメントシートで服薬の情報記載を頂いている。 ・契約時に服薬の有無や副作用、対応方法について保護者様に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		・見学・体験に来られた際に保護者様に聞き取りを行うと共に、調理イベントの際は必ずアンケート調査を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7					